わんにゃんドック
結果報告書

No.　　1

名前　　高橋　うめ

実施日　2012年　8月　17日

たかはし動物病院

身体検査

年齢　8歳　　体重　　14.8ｋｇ

体温　38.5 ℃　心拍数　　80回/分　呼吸数　　30回/分

全身状態	皮膚･被毛	眼	耳	口腔
□正常	□正常	■正常	■正常	□正常
□削痩	□乾燥	□流涙	□炎症	■歯石
□やせぎみ	□脱毛	□赤眼	□耳垢	□歯肉炎
■太りぎみ	■脂漏	□白内障	□その他	□口内炎
□肥満	□外部寄生虫	□その他		□その他
□その他	□発赤			
	□その他			

鼻腔･咽頭･頸部	四肢	心臓	肺･胸腔	腹腔
■正常	□正常	■正常	■正常	■正常
□鼻分泌物	□跛行	□心雑音	□呼吸音異常	□腹部膨満
□鼻腔狭窄	□神経学的異常	□不整脈	□咳	□鼠径ヘルニア
□軟口蓋過長	□脛骨異形成	□その他	□その他	□臍ヘルニア
□リンパ節腫大	□膝蓋骨脱臼			□その他
□その他	■その他			
	両後肢筋萎縮			

消化器系	泌尿器生殖器系
■正常	■正常
□蠕動音異常	□陰睾
□寄生虫	□外陰部腫脹
□その他	□その他

検査結果

血液・生化学検査(犬)

たかはし動物病院

高橋 多樹 様　うめ ちゃん 1-1

犬 ｳｪﾙｼｭ･ｺｰｷﾞｰ･ﾍﾟﾝﾌﾞﾛｰｸ 雌　8歳 3ヶ月齢　2012年8月17日(金) 10:02

項目		結果		基準値 Canine Adults				考えられる状況，疾患
RBC	赤血球数	724		550	～	850	$10^4/\mu l$	↑脱水 ↓貧血
PCV	赤血球容積比	51		40	～	55	%	↑脱水 ↓貧血
Hb	ヘモグロビン	19.3	↑	12	～	18	g/dl	↑脱水 ↓貧血
MCV	平均赤血球容積	76.5		60	～	77	fl	
MCHC	平均赤血球血色素濃度	34.8		30	～	36.9	$/\mu l$	
WBC	白血球数	84		60	～	170	$10^2/\mu l$	↑炎症，細菌感染，興奮，ｽﾄﾚｽ ↓ｳｲﾙｽ感染，他
BandN	杆状好中球	0		0	～	300	$/\mu l$	
SegN	分葉好中球	5124		3000	～	11500	$/\mu l$	
Lym	リンパ球	2016		1000	～	4800	$/\mu l$	
Mon	単球	336		150	～	1350	$/\mu l$	
Eos	好酸球	168		100	～	750	$/\mu l$	
Bas	好塩基球	0		0	～	0	$/\mu l$	
II	黄疸指数			0	～	0		
Ret							%	
Plat	血小板	38.4		17.5	～	40	$10^4/\mu l$	
Fibn				0.15	～	0.2	g/dl	
mf	ﾐｸﾛﾌｨﾗﾘｱ							
F	ﾌｨﾗﾘｱ成虫							
TP	総蛋白	6.2		5	～	7.2	g/dl	↑脱水 ↓栄養不良，肝疾患，腎疾患
Alb	アルブミン	3.4		2.6	～	4.0	g/dl	↑脱水 ↓栄養不良，肝疾患，腎疾患，消化器疾患
GPT		34		17	～	78	IU	↑肝疾患，中毒
GOT		16	↓	17	～	44	IU	↑肝，骨，筋疾患
ALP	ｱﾙｶﾘﾌｫｽﾌｧﾀｰｾﾞ	184		47	～	254	IU	↑肝疾患，骨疾患，胆管閉塞
TBil	総ビリルビン	0.4		0.1	～	0.5	mg/dl	↑肝疾患，胆嚢疾患
TCho	総ｺﾚｽﾃﾛｰﾙ	254		111	～	312	mg/dl	↑脂質代謝異常
TG	ﾄﾘｸﾞﾘｾﾗｲﾄﾞ							
Amy	アミラーゼ			200	～	1400	IU	↑膵炎 ↓膵機能低下
Lip	リパーゼ			0	～	160	IU	↑膵炎 ↓膵機能低下
Glu	血糖値	90		75	～	128	mg/dl	↑糖尿病，慢性膵炎 ↓低血糖，飢餓状態
BUN	尿素窒素	20.8		9.2	～	29.2	mg/dl	↑脱水，腎障害，心不全 ↓ﾀﾝﾊﾟｸ欠乏症，肝疾患
Cre	クレアチニン	0.6		0.4	～	1.4	mg/dl	↑腎疾患，尿路閉塞
CPK				49	～	166		↑腎疾患，筋炎
LDH				20	～	109	IU	↑心臓疾患，腎疾患，肝疾患
Na	ナトリウム	149		141	～	152	mmol/l	↑腎疾患，代謝異常
K	カリウム	4.1		3.8	～	5.0	mmol/l	↑腎疾患，代謝異常
Cl	クロール	113		102	～	117	mmol/l	
Ca	カルシウム	10.0		9.3	～	12.1	mg/dl	
P	リン	3.9		1.9	～	5.0	mg/dl	
NH3	アンモニア			16	～	75	$\mu g/dl$	↑肝疾患
T4	サイロキシン						ng/ml	↑甲状腺疾患
GGT	ガンマGT	12		5	～	14	IU	
UA								↑肝疾患，脂質代謝異常
CK				49	～	166	IU	
ChE								
CRP	C反応性蛋白			0	～	1	mg/dl	↑炎症

評価判定コメント	異常は認められません。

尿検査

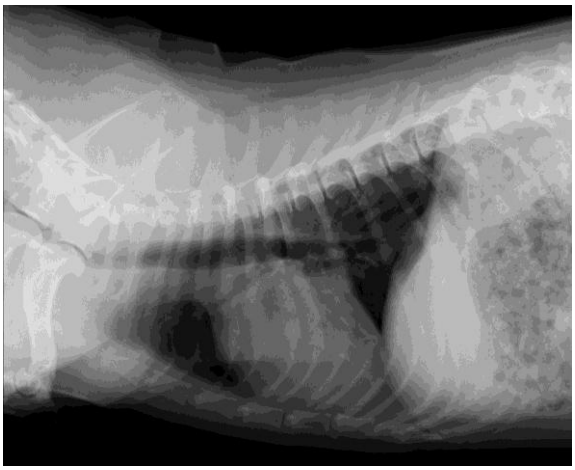
採取方法	自然排尿
色調	黄色
尿比重	1.042
pH	7
潜血	－
ケトン	－
ビリルビン	－
ウロビリノーゲン	－
蛋白	－
ブドウ糖	－
沈渣	特異所見なし

糞便検査

直説法	異常なし
浮遊法	異常なし

レントゲン検査結果

＜胸部レントゲン検査＞



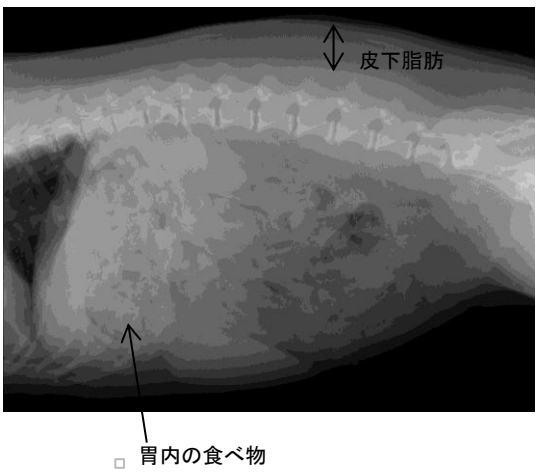
所見

胸を横から撮った写真です。
肺野・心臓ともに異常は認めません。

所見

胸を正面から撮った写真です。
肺野・心臓ともに異常は認めません。

＜腹部レントゲン検査＞



所見

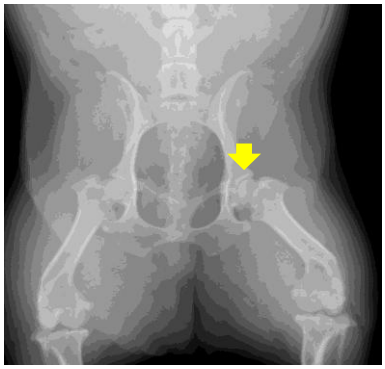
お腹を横から撮った写真です。
皮下脂肪が多いです。
異常ではないですが
胃内に食べ物が入っています。

所見

お腹を正面から撮った写真です。
胃内に食べ物が入っています。
大きな異常は認めません。

レントゲン検査結果

＜　骨盤　＞

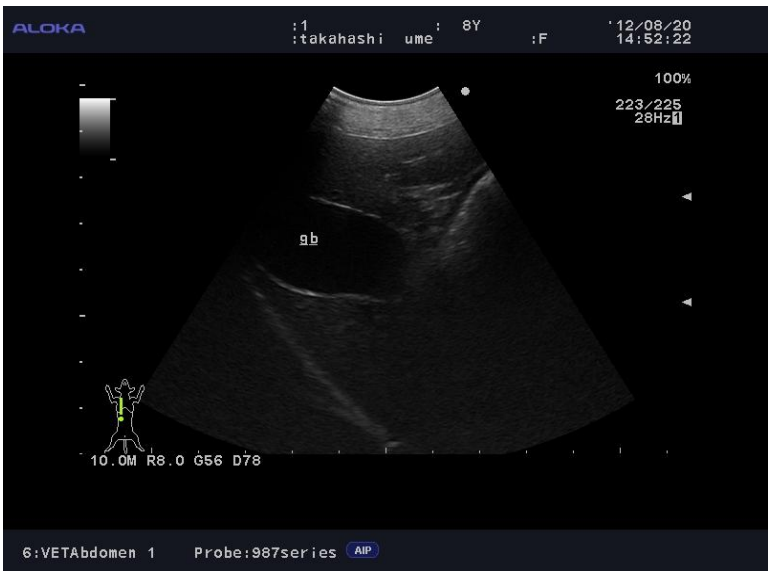
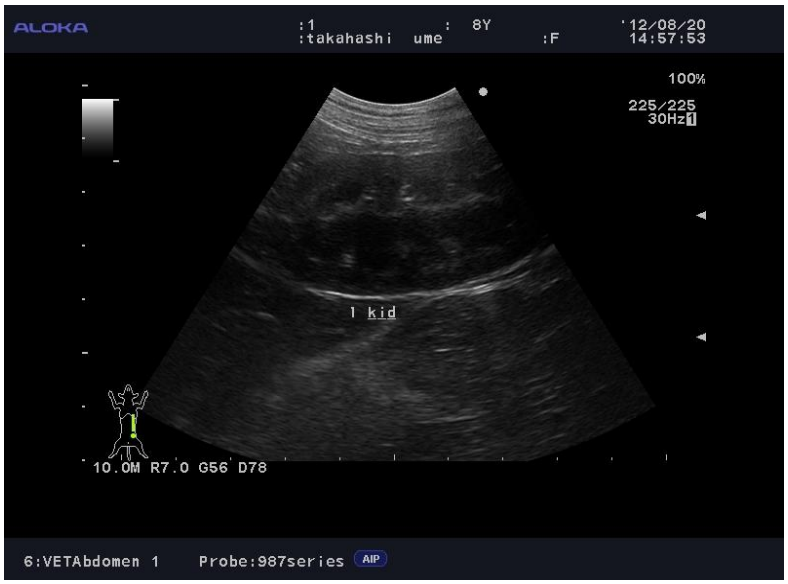
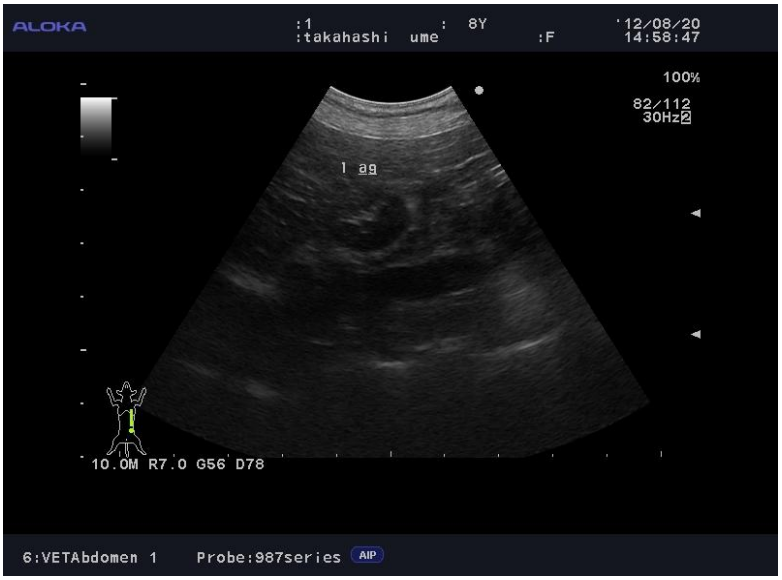


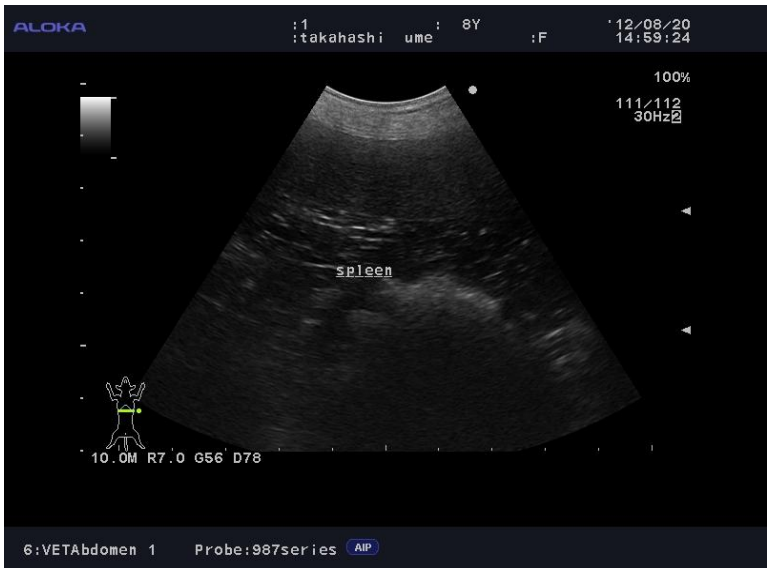
所見

骨盤の形状は異常ないですが
左の股関節に軽度の変形性関節症
が認められます。

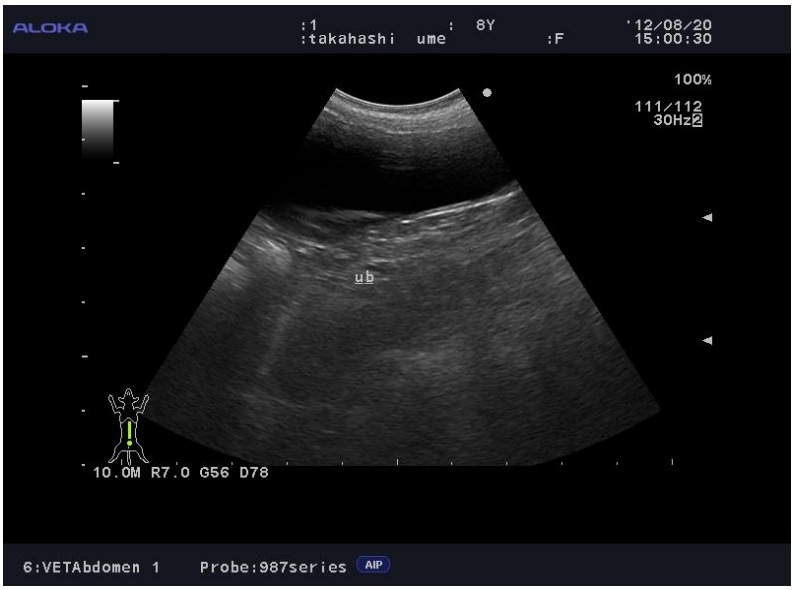
所見

超音波検査結果

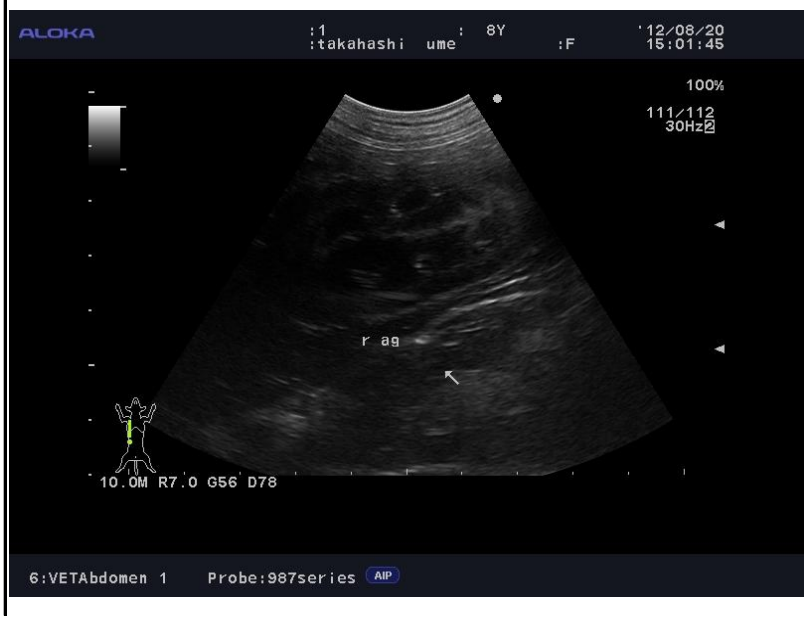
	肝臓と胆嚢です 大きな異常は 認められません
	左の腎臓です。 大きな異常は 認められません。
	左の副腎です。 大きさは正常範囲内 ですが、やや大きめの 印象を受けます。



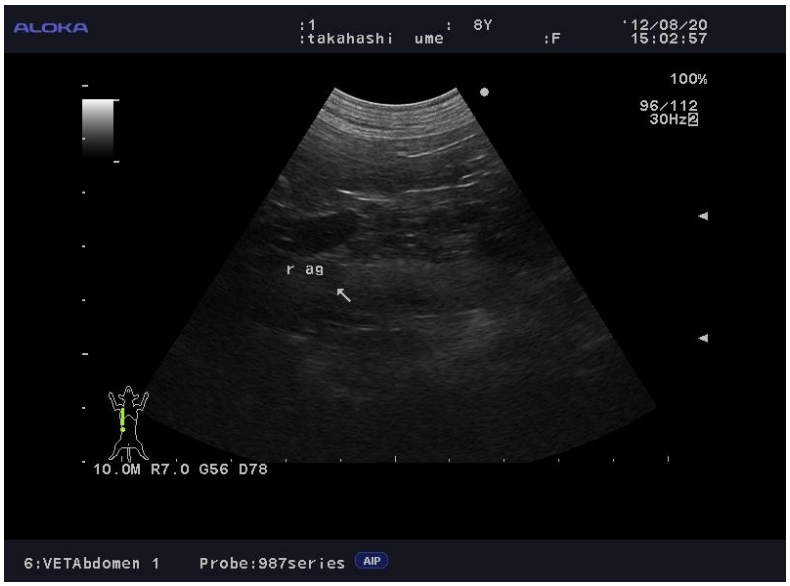
脾臓です。
大きな異常は
認められません。



膀胱です。
大きな異常は
認められません。



右の腎臓です。
大きな異常は
認められません。

	右の副腎です。 大きさは正常範囲内ですが、やや大きめの印象を受けます。

総合評価

身体検査より少し太り気味と思われます。

歯石が軽度付着しています。

また臀部の筋肉に萎縮傾向が見られます。

歩様より股関節の異常が考えられます。

血液検査上は大きな異常は認めません。

レントゲン上では胸部・腹部に大きな異常は認めませんでしたが、
股関節のレントゲンから関節面が不整と思われます。
股関節の変形性関節症があると思われます。

超音波検査上、大きな異常は認めませんでしたが、
両側の副腎がやや大きめの印象を受けます。

今後について

股関節の変形関節症があるため、定期的に後ろ足の痛みが出てくる可能性があります。
関節の負担を減らすためにも、体重制限が必要です。
また、関節サプリメント等の使用により、関節を保護してあげるのも良いと思われます。

超音波検査で両側副腎は正常範囲内ですが、やや大きめです。
追加検査は現状では必要ないと思われますが、定期的なチェックをお勧めします。

歯石は今後も付着すると思われます、自宅での歯磨きや病院での歯石除去を
お勧めします。